

主な出来事

【内政】

- ジャン・ピン元AU委員長による国民向け演説
- 憲法裁判所が副大統領による閣議開催を決定
- AUがガボンに対し憲法遵守の重要性を強調する声明を発表
- ボンゴ大統領、モロッコのラバトに移送

【外政】

- イモンゴ外相によるパリにおける第一次大戦休戦記念日の式典への参加
- イモンゴ外相によるインド訪問

【経済】

- 石油・炭化水素省で200億セーファの予算管理の不正が発覚
- IMFミッションのガボン訪問
- 2018年第3四半期の収入が1400億増
- ガボンのキンバリー・プロセス加盟国承認
- アフリカ開発銀行がガボンに655億セーファ拠出

【内政】

1 ジャン・ピン元AU委員長による国民向け演説

3日、ジャン・ピン元AU委員長は、数ヶ月間の沈黙を破り、国民に団結を訴える演説を行った。ジャン・ピン元AU委員長は同演説において、対立を乗り越え、国家を個人、民族及び氏族の利益に優先させるべきであると訴えた。（5日付UN）。

2 民主党（LD）党首による国民議会選挙結果への批判

12日、ンズバ・ンダマLD党首は、本年10月に実施された国民議会選挙は、多くの棄権票及びガボン民主党（PDG）による策略があったと提起しつつ、真実も現場の現実も反映していないと非難した。（14日付UN）

3 野党国民連合（UN）がボンゴ大統領の容態に関し「国家の虚偽」とのコミュニケを発表

13日、ガボン主要野党の1つである国民連合（UN）は、ボンゴ大統領の容態に関する11日付大統領府声明に関し、「国家の虚偽」であるとのコミュニケを発表した。また、同コミュニケは、医療チームによるボンゴ大統領の容態に関する医療報告書の公表及びイソゼ首相等による代表団の早期リヤド派遣を要求した。（13日付GMT, 14日付AFP）

4 憲法裁判所が副大統領による閣議開催を決定

14日、大統領の一時的な職務不能時に大統領職務の一部を副大統領または首相が代行可能とする内容の一項を憲法裁判所は憲法第13条に追加することを決定した。本決定を

受け、16日、マガンガ・ムサヴ副大統領が閣議を開催した。(15日付UN)

5 AUがガボンに対し憲法遵守の重要性を強調する声明を発表

17日、AUは憲法遵守の重要性を強調し、近くリーブルビルに状況把握のためのミッションを派遣するとの声明を発表した。20日、ガボン政府は必要が生じれば、両者が合意する時期にミッションを受け入れる用意がある旨の声明を発表。(19日付UN, 20日付UN)

6 ボンゴ大統領、モロッコのラバトに移送

28日から29日にかけて、ボンゴ大統領はサウジアラビアのリヤドからモロッコのラバトに移送された。ボンゴ大統領はモハメッド6世モロッコ国王の指示により、モロッコの軍事病院で静養を続ける予定。(29日付UN)

【外政】

1 イモンゴ外相によるパリにおける第一次大戦休戦記念日の式典への参加

11日、イモンゴ外相はパリで開催された第一次世界大戦休戦記念日への式典にボンゴ大統領の代理として出席した。(13日付UN)

2 イモンゴ外相によるインド訪問

29日から30日にかけて、イモンゴ外相はインドのニューデリーを訪問し、ガボンの鉱物(マンガン・鉄)資源の探査・開発といった複数の分野におけるパートナー協定を締結した。(30日付GR)

【経済】

1 Maurel&Prom社の総売上高、前年同時期比19%増

Maurel&Prom社(フランス企業)の本年9ヶ月間の総売上高は、前年同時期比19%増の3億4200万セーファを記録した。同総売上高の内、ガボン事業が3億3300万セーファを占める。(2日付UN)

2 2017年の銀行セクターの収支減少

2017年の銀行セクターの収支は、顧客からの預金額の減少を受け、2016年の2兆4097億セーファから8.9%減少し、2兆1962億セーファを記録した。(7日付GR)

3 石油・炭化水素省で200億セーファの予算管理の不正が発覚

会計検査院は石油・炭化水素省内で200億セーファの予算管理における不正、鉱物・石油製品からの収入の隠蔽管理等があったことを明らかにした。(13日付GMT)

4 ガボン政府とSFMアフリカ社がグランド・ムンバ・プロジェクトに関する新協定に署名

13日、ガボン政府とSFMアフリカ社がグランド・ムンバ・プロジェクトに関する新協定に署名した。同プロジェクトは、ムンバ地方における森林開発、木材の加工、農工業、農森林開発、漁業、国立公園関連インフラ及び宿泊を伴う観光ツアーといった持続

的開発に関する総合プロジェクトの実施を目的としている。(15日付UN)

5 IMFミッションのガボン訪問

11月7日から16日にかけて、IMFミッションがガボンの経済状況の調査のためにリーブルビルを訪問した。同ミッションは経営・財政難に陥っている3銀行の清算が必要である等発表した。また、16日、IMFミッションの代表者は、ガボンの経済成長にポジティブな影響があるであろう金融ガバナンス改善のためのガボン政府の努力を称賛した。(19日付UN)

6 トタル・ガボン社の炭化水素部門の業績好調

本年9ヶ月間の業績は、石油価格の高騰等を受け、昨年同時期と比較して大幅増の1470億セーファを記録した。他方、同時期の総売上高は昨年同時期の総売上高の4%減の4180億セーファを記録した。(21日付UN)

7 第58回コーヒー・アフリカ間機構総会のリーブルビル開催

20日、第58回コーヒー・アフリカ間機構総会が7日間にわたりリーブルビルで開催された。同総会では気候変動の文脈においてアフリカで如何に持続的にコーヒーを生産していくか等について議論が行われた。また、同総会のマージンで21日から23日にかけて第一回アフリカ・マダガスカル・ロブスタコーヒー協会の臨時総会もリーブルビルで開催された。(21日及び26日付GMT)

8 2018年第3四半期の収入が1400億増

ガボン政府関係者は、9月末時点の収入が1兆3347億セーファに達し、昨年比で1412億セーファ増を記録した旨明らかにした。(27日付GMT)

9 ガボンのキンバリー・プロセス加盟国承認

12日から18日にかけてブリュッセルで開催されたキンバリー・プロセスの加盟国総会において、ガボンの加盟プロセス終了に関する決議が採択され、ガボンは今後、投票権を有するキンバリー・プロセスの加盟国となる。(29日付UN)

10 アフリカ開発銀行がガボンに655億セーファ拠出

22日、アフリカ開発銀行の理事会は、マクロ経済の安定に向けたガボン政府の改革への支持、財政健全化及び経済の多角化等の支援のために655億セーファを拠出することを承認した。

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP紙),EN(エコ・ノール紙),GMT(Gabonmediatime)